

2021年11月吉日

運輸総合研究所
研究報告会 2021年冬（第50回）
ご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

運輸総合研究所におきましては、「研究報告会 2021年冬（第50回）」をオンライン配信および会場参加にて開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。

ご参加にあたりましては、大変恐縮ですが、申込み専用URLからお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：2021年12月1日（水）13：00～17：00（12：30開場）

会 場：オンライン配信（Zoomウェビナー）及び

会場参加（ベルサール御成門タワー3F、200名を予定）

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、会場参加の人数が変更になる場合があります。

費 用：無料

プログラム：当研究所の研究アドバイザーをお願いしている福田大輔東京大学大学院工学系研究科教授より研究者の立場から基調講演を頂きます。

また、研究員からのそれぞれの発表にコメンテーターを設け、報告の概要と意義についての解説や討議を行うとともに、参加者からの質疑応答を行うことにより議論の深度化を図ることとしています。（詳細別紙参照）

お申込み：下記のURLよりお申し込みください。

<https://krs.bz/jterc/m/sympo50>

（申込期限：2021年11月29日（月）まで）

※お申し込み頂いた方には、11月30日（火）に視聴用URLをご送付いたします。



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

お問い合わせ：一般財団法人運輸総合研究所 企画部（担当：新倉（にいくら））
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（UD神谷町ビル）
TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8419
E-mail：collo@jttri.or.jp HP：<https://www.jttri.or.jp>

運輸総合研究所 研究報告会 2021年冬(第50回)



- 日 時：2021年12月1日（水）13:00～17:00（12:30開場）
- 会 場：オンライン配信（Zoomウェビナー）及び会場参加（ベルサール御成門タワー）
- 費 用：無料
- その他：会場内での撮影・録音は禁止させていただきます。

<プログラム>

開会挨拶	宿利 正史	運輸総合研究所会長	13:00- 13:10	(10)
来賓挨拶	藤井 直樹	国土交通省国土交通審議官	13:10- 13:20	(10)
基調講演	「ポストコロナの交通像に関する一私論」		13:20- 14:00	(40)
	福田 大輔	東京大学大学院工学系研究科教授／研究アドバイザー		
報告概要	山内 弘隆	運輸総合研究所所長	14:00- 14:10	(10)

報 告

- (1) 「観光DMOの取組み及びガバナンス構造に関する分析 14:10- 15:00 (50)
～滞在型観光の推進に向けて～」

発 表	後藤 孝夫	客員研究員／中央大学経済学部教授	(25)
コメンテーター	鎌田 裕美	一橋大学大学院経営管理研究科准教授	(10)
討論・質疑応答			(15)

休 憩 15:00- 15:15 (15)

- (2) 「大規模災害時の緊急支援物資供給の円滑化に関する研究」 15:15- 16:05 (50)

発 表	後藤 浩平	客員研究員	(25)
コメンテーター	藤生 慎	金沢大学融合研究域融合科学系准教授	(10)
討論・質疑応答			(15)

- (3) 「高齢者の増加に伴う東京圏の鉄道需要の将来 16:05- 16:55 (50)
～就業実態の変化に基づく分析～」

発 表	嶋田 優樹	研究員	(25)
コメンテーター	岩倉 成志	芝浦工業大学工学部土木工学科教授	(10)
討論・質疑応答			(15)

(討論・質疑応答) モデレーター 山内 弘隆 運輸総合研究所所長

閉会挨拶	佐藤 善信	運輸総合研究所理事長	16:55- 17:00	(05)
------	-------	------------	--------------	------

司会

～ 発表概要 ～

【基調講演】

「ポストコロナの交通像に関する一私論」

福田 大輔 東京大学大学院工学系研究科教授／研究アドバイザー

COVID-19の流行を通じてリアル空間上における日常の移動・活動は大きく変化し、その代替としてオンラインでの交流や業務活動によるバーチャル空間上での経済集積が顕在化してきた。本講演では、講演者が取り組んでいるウィズ／ポストコロナにおける人々の移動活動の実態分析やシミュレーション分析等の研究成果を踏まえつつ、ポストコロナの交通像についての一私論を示したい。

【報 告】

(1) 「観光DMOの取組み及びガバナンス構造に関する分析～滞在型観光の推進に向けて～」

後藤 孝夫 客員研究員／中央大学経済学部教授

本研究では、3密を避けられる旅行スタイルの1つとして観光庁が推奨し、宿泊を伴う観光として地域経済にも影響を与えると考えられている滞在型観光に焦点をあてて、その供給主体の1つである観光地域づくり法人(DMO)の取組みやガバナンス構造が各観光地のKPI、とりわけ延べ宿泊者数に与える影響について分析する。

(2) 「大規模災害時の緊急支援物資供給の円滑化に関する研究」

後藤 浩平 客員研究員

被災地への緊急支援物資の供給は被災者の生活を支える重要な役割を果たしており、今後、大規模災害の発生が懸念される中、物資の円滑な供給が求められている。本研究は、まず、過去の災害時の実態のレビューにより支援物資の円滑な供給を阻害する原因を特定する。そのうえで、先行研究、既往調査、関係者へのインタビューを通じてこれまで提案された方策の課題を検討、供給円滑化に向けた方策を提案する。

(3) 「高齢者の増加に伴う東京圏の鉄道需要の将来～就業実態の変化に基づく分析～」

嶋田 優樹 研究員

高齢化の進展を背景に、高齢者雇用安定法の改正等による高齢者の就業支援が行われ、60歳前後から人々の働き方は近年大きく変化している。このような状況を踏まえ、高齢者の就業や移動の実態を把握することは、今後の鉄道経営を考える上で非常に重要である。本研究では東京圏の高齢者を対象に就業実態の変化を把握し、さらに事業者や路線別の鉄道利用に着目して高齢者の鉄道利用の実態を分析することで、今後の輸送需要への影響について考察する。

運輸総合研究所 研究報告会 2021年冬(第50回)



開会挨拶 宿利 正史

一般財団法人運輸総合研究所会長

1974年東京大学法学部卒、運輸省（現：国土交通省）に入省。航空局審議官・管理部長・次長、大臣官房総括審議官、自動車交通局長、総合政策局長、大臣官房長、国土交通審議官、事務次官を歴任。2013年8月から東京大学公共政策大学院客員教授(交通政策)、2014年4月から一般社団法人国際高速鉄道協会(IHRA)理事長、2021年6月から公益財団法人日本海事センター会長を務める。2018年6月より現職。



報告概要 山内 弘隆

一般財団法人運輸総合研究所所長／一橋大学名誉教授

慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。中京大学商学部専任講師、経済学部専任講師、一橋大学大学院商学研究科教授、一橋大学大学院商学研究科科長兼商学部長を経て、現在、運輸総合研究所所長兼一橋大学名誉教授。専門領域、交通経済論、公共経済学、公益事業論、規制の経済学。内閣府PFI推進委員会委員、国土交通省交通政策審議会委員、同社会資本整備審議会臨時委員等を歴任。



来賓挨拶 藤井 直樹

国土交通省国土交通審議官

1983年東京大学法学部卒、運輸省（現：国土交通省）に入省。総合政策局公共交通政策部長、自動車局長、鉄道局長、大臣官房長を経て、2019年7月より現職。



基調講演 福田 大輔

東京大学大学院工学系研究科教授／研究アドバイザー

東京大学工学部土木工学科卒業、同大学院修士課程修了。博士(工学)。東京工業大学助手、助教授、准教授を経て、現在、東京大学大学院工学系研究科教授兼一般財団法人運輸総合研究所研究アドバイザー。専門は交通行動分析、交通システム工学。



閉会挨拶 佐藤 善信

一般財団法人運輸総合研究所理事長

1982年東京大学法学部卒、運輸省(現：国土交通省)入省。空港部長、航空ネットワーク部長、航空局次長、観光庁次長、海上保安庁次長、航空局長等を歴任。2019年8月より現職。東京大学公共政策大学院客員教授(観光政策)を兼務。



～ 講演者・コメンテータープロフィール ～

報告① 後藤 孝夫

客員研究員／中央大学経済学部教授

運輸総合研究所客員研究員。慶應義塾大学大学院商学研究科後期博士課程修了。博士(商学)。九州産業大学商学部専任講師、同准教授、近畿大学経営学部准教授、同教授を経て現職。専門は交通経済学・公益事業論。主な研究テーマは交通インフラ(道路、空港および港湾)の費用負担問題と観光政策における交通事業のあり方の検討。



報告①コメンテーター 鎌田 裕美

一橋大学大学院経営管理研究科准教授

一橋大学大学院商学研究科博士後期課程修了。一橋大学大学院商学研究科特任講師、国土交通省国土交通政策研究所研究官、西武文理大学サービス経営学部専任講師、淑徳大学経営学部専任講師を経て、2017年より現職。研究分野は、観光地の住民態度、訪日外国人観光客のリピーター要因等。



報告② 後藤 浩平

客員研究員

1988年東京大学法学部卒業後、運輸省に入省。航空、鉄道、自動車、海事、国際、観光、気象、海上保安など幅広い分野の業務を担当。2017年気象庁総務部長、2018年第五管区海上保安本部長を経て、2020年7月国土交通省を退職。2021年1月運輸総合研究所客員研究員に就任。防災・気象分野を研究。



報告②コメンテーター 藤生 慎

金沢大学融合研究域融合科学系准教授

2013年東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻博士課程修了。博士(学際情報学)。東京大学生産技術研究所特任研究員、金沢大学理工研究域環境デザイン学系助教、准教授(現：地球社会基盤学系)を経て、2021年4月より現職。専門分野は、防災計画、維持管理計画、交通計画等。「空港における自然災害対策に関する検討委員会」(作業部会)委員を歴任。



報告③ 嶋田 優樹

運輸総合研究所研究員

2012年東京大学工学部社会基盤学科卒業、2014年東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻修了、2014年東京急行電鉄株式会社、2021年4月より運輸総合研究所研究員。



報告③コメンテーター 岩倉 成志

芝浦工業大学工学部土木工学科教授

東京理科大学大学院理工学研究科土木工学専攻修士課程修了。東京工業大学工学部土木工学科助手、財団法人運輸経済研究センター研究調査部調査役、芝浦工業大学工学部土木工学科講師、助教授を経て、2004年より現職。専門分野は、交通計画、交通行動分析。国土交通省交通政策審議会委員、鉄道運輸機構事業評価監視委員会委員等を歴任。

